

皆さんこんにちは。

本美術展の実行委員長を務めさせていただいております福岡市身体障害者福祉協会の清水でございます。

先ずは本美術展が今年無事に開催できましたことに大変安どしているところでございます。開催に向けては、多くの皆様のご理解とご協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

本美術展は平成 20 年。それまで別々に開催されていた「障がい者作品展」と「フレンドホーム合同美術展」を一本化する形で、新たに「福岡市障がい児・者美術展(コアサイドアート)」としてスタートいたしました。以来この美術展も今回で 14 回を迎えることができ大変うれしく思います。

一昨年は新型コロナの感染拡大の影響を受け、やむなく中止といたしました。美術展を目指し日々頑張ってきた皆さんには大変ご迷惑をおかけいたしました。

また、創作意欲をそがれたのではないかと心配いたしました。が、今年の美術展では、中止前ほどではありませんが 300 点を超える作品が出展され、皆さんの創作意欲がそがれていないことに安心いたしました。

今回も出展総数 321 点(えがく部門:218 点、もじ部門:58 点、あそぶ部門:78 点)の作品が出展され大変うれしく思います。

本日、12 月 20 日から 25 日までの展示期間を終え、入賞作品の制作者への表彰式を迎えることができ、作品の制作に取り組まれた皆様には敬意を表したいと思います。また、惜しくも入賞に至らなかった方々にもその創作意欲に敬意を表したいと思います。

今後もこの美術展を継続し、障がいのある方々の創作意欲を高め、多くの方に表現することの楽しさを味わっていただけるよう努めてまいりたいと考えております。

これからも皆さんの素晴らしい表現力を楽しみにしております。

ご協力をよろしく願いいたします。

令和 4 年 12 月 25 日
福岡市障がい児・者美術展実行委員会
実行委員長 清水 邦之